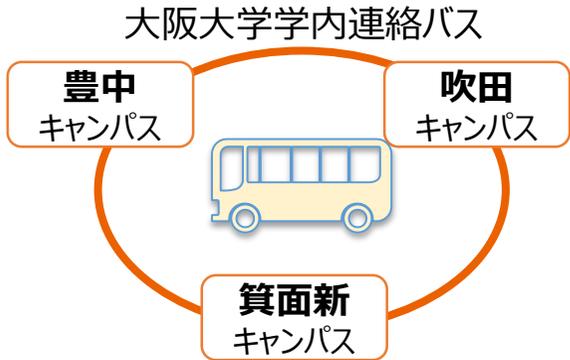


電気バス導入実証

- 電気バス導入によるゼロエミッション走行
- 非常災害時のBCP活用

平常時

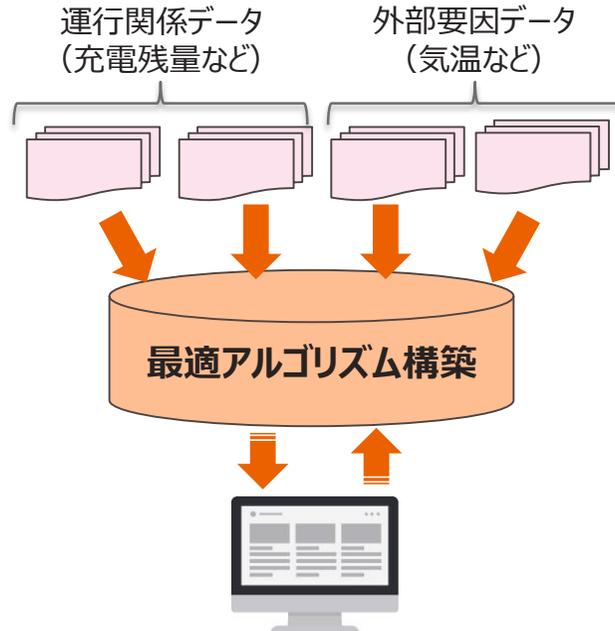


非常時



エネルギー×運行の最適化実証

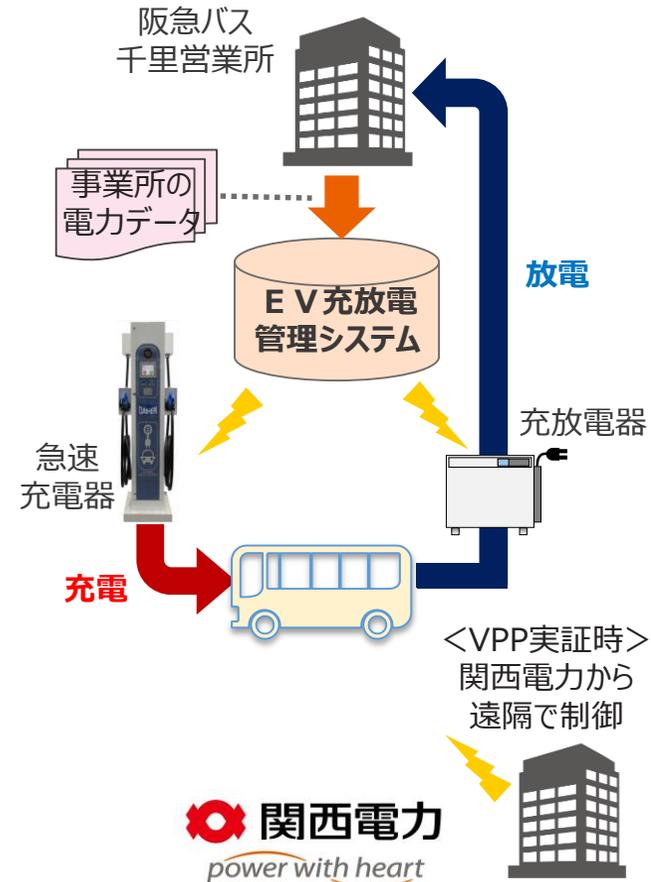
- 最適な充放電となるアルゴリズム構築
- 実証フィールドの提供



※EV充放電管理システムへ反映し、最適な充放電となるよう検証

エネルギー×建物の最適化実証

- 電気バスの蓄電池を活用したエネルギーマネジメント
- 遠隔制御によるVPP実証



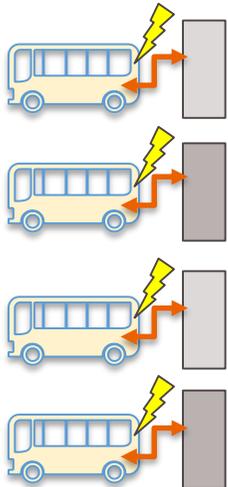
充放電のエネルギーマネジメントによって、複数の電気バスの運行状況や蓄電池の充電状況等の運行データや事業所建物の電力データ等に基づいて、電気バスへの充電や事業所建物に対する放電の最適化を行います。

充放電エネルギーマネジメントなし

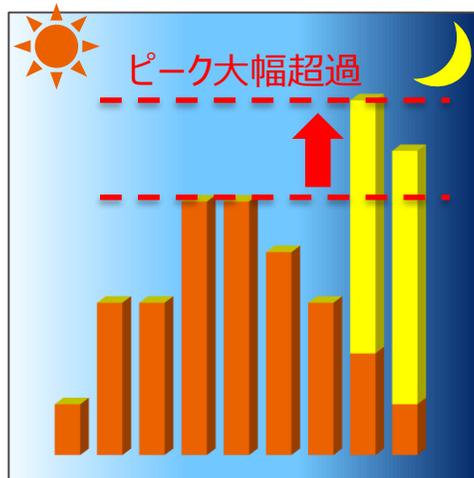
【課題】

- ①電気バスを複数台導入する場合、**台数に合わせて充電設備を増やす必要があり、導入コストがかさむ**
- ②複数の電気バスを同時に充電する場合、**電気使用量のピークが大幅に増加し、電気料金も大幅に増加する**

<充電設備>



<電力ピーク>

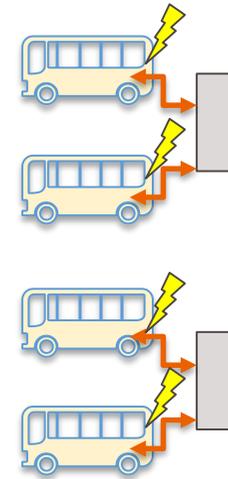


充放電エネルギーマネジメントあり

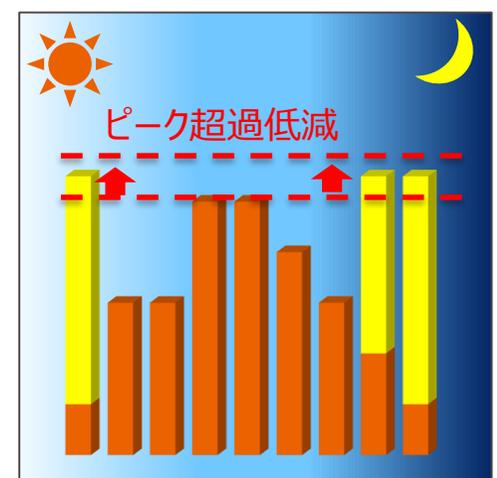
【期待される効果】

- ①電気バスの台数が増加しても**充電器の台数を最低限に絞り込むことが可能**となり、**導入コストを削減**
- ②電気バスへの充電時間を最適化することにより**契約電力のピーク超過の低減**が可能となり、電気料金を抑制

<充電設備>



<電力ピーク>



本実証実験でエネルギーマネジメントを実現するアルゴリズムの最適化について検証を行い、さらなる精度の向上を目指します。